

鉄道中吊り広告から地域をみる



端午
の節句

NO. 117

4月は学校も会社もオープニングの時期。あちこちに元気な新人が見受けられます。野球やサッカーも本格的シーズン入り。ひいきチームの戦績に一喜一憂の始まりでもあります。

中吊り広告では大きな変化はみられませんでした。自他率で久しぶりに自社が他社を上回りました。一年前も両者が僅差でしたので季節的要因ともみられます。また前月に続いてのカードの健闘もトピックスでした。

2019年4月レポート

・調査対象路線 東京圏の次の16線

①京浜急行線 ②JR 京浜東北線 ③東急田園都市線 ④小田急線 ⑤京王線 ⑥JR 中央・総武線 ⑦西武線 ⑧東武東上線 ⑨東武伊勢崎線 ⑩京成線 ⑪東京メトロ銀座線 ⑫東京メトロ丸の内線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭都営新宿線 ⑮都営浅草線 ⑯JR 山手線
埼玉県関係の次の12線

①JR 宇都宮線・高崎線 ②JR 京浜東北線 ③JR 武蔵野線 ④JR 埼京線・川越線 ⑤西武線 ⑥東武東上線 ⑦東武伊勢崎線 ⑧秩父鉄道線 ⑨埼玉高速鉄道線 ⑩つくばエクスプレス線 ⑪東京メトロ有楽町線 ⑫東京メトロ副都心線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭東京メトロ南北線 ⑮東京臨海副都心線 ⑯東急目黒線・田園都市線

・調査月日 平成31年4月9日(火)

・調査結果 東京圏全体と埼玉県関係に大別してまとめました。

東京圏全体

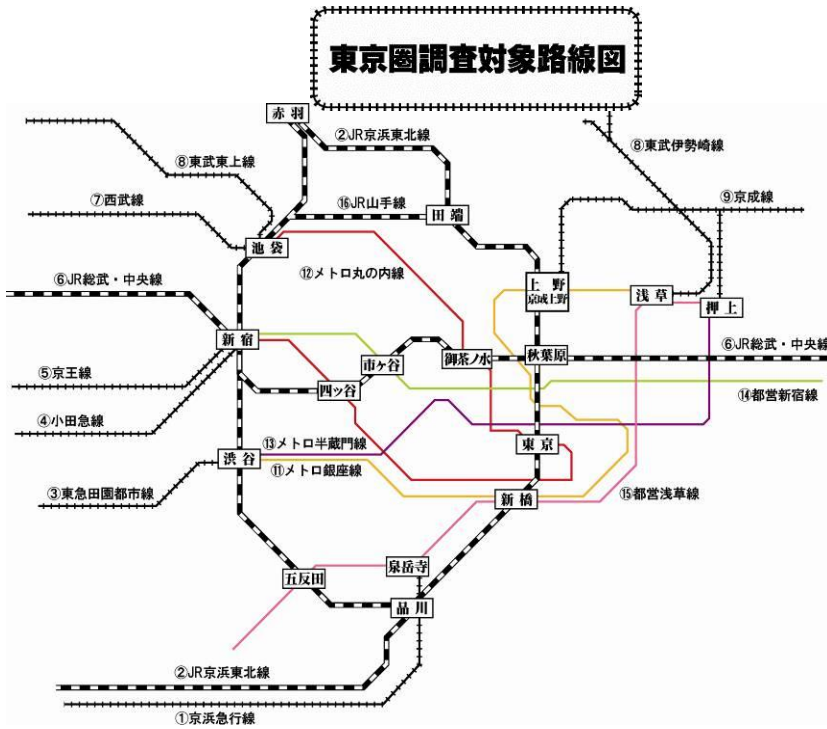
<全体的な状況>

- ① 4月の広告業種別ベスト5は、①旅行レジャー(84)②お知らせ(66)③カード(51)④食品(38)⑤各種商品(32)の順で、次点は出版(26)でした。
- ② 自社と他社別では、自社が198の51.0%で他社は190の49.0%で久しぶりの逆転でした。
- ③ 空きスペースは48(11.0%)で前月より実数で10上回りました。

<各線ごとのコメント>

- ・①の京浜急行線は、今月も旅行レジャーが独走でトップ。情報通信とお知らせが続く。8業種と健闘。
- ・②⑥及び⑯のJR各線(京浜東北線、中央線・総武線、山手線)は、三線ともダブル広告が目立つがその割に業種も多い。広告スペースの少ない山手線新型車両の置き換えも間近。
- ・③の東急線は、各種商品をトップにカード、教育学校、食品が続く。7業種と前月と同じ。
- ・④の小田急線は、今月も旅行レジャーが大きく減少したがトップ。出版と各種商品が続く。12業種と全線で首位。
- ・⑤の京王線は、お知らせが首位。旅行レジャー、食品、カードの順。9業種と増加。
- ・⑦の西武線は、旅行レジャーが独走でトップ。お知らせ、各種商品と続く。7業種とダウン。
- ・⑧及び⑨の東武線(伊勢崎線と東上線)は、引き続き両線とも自社率が高く、広告内容がほぼ同傾向なのは珍しい。
- ・⑩の京成線は、今月も旅行レジャーがダントツでトップ。カード、情報通信の順。
- ・⑪から⑬までの東京メトロ各線(銀座線、丸の内線、半蔵門線)は、銀座線で食品、丸の内線で出版、半蔵門線で出版、食品、お知らせがそれぞれトップ。相変わらず他社率の高さは抜群。
- ・⑭及び⑮の都営地下鉄各線(浅草線、新宿線)は、改善傾向にあった空欄が両線でさらに悪化。引き続き東北自治体のお知らせが圧倒的トップ。業種数も新宿線で5。浅草線で3極端に少ない。

(4Pへ続く)



Wikipedia より

J1 FC 東京のメインスタジアムの味の素スタジアム



<https://www.ajinomotostadium.com/>より

東京沿線別 広告内容の状況 (全体表)

鉄道種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計
	京浜急行線	JR京浜東北線	東急田園都市線	小田急線	京王線	JR中央・総武線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	京成線	東京外環銀座線	東京外環丸の内線	東京外環半蔵門線	都営新宿線	都営浅草線	JR山手線	
出版	2	1	1	4		1	1	1	1		4	5	5				26
旅行レジャー	9	2	2	6	5	4	16	8	7	10			2	6	5	2	84
金融保険																	0
不動産	2	2		1		3		1	1		2	2					14
教育学校		2	3	2	2	4					1	1	2			2	19
文化芸術				1	1					2	2		3				9
情報通信	3	2	1	2	1	2		2	2	3	1	1	2			2	24
食品	2	4	3	3	3	4	2				4	4	5			4	38
商業				1	2		2	3						2		2	12
カード	2	2	4	3	3	4	2	6	6	5	2	2	2	2	2	4	51
就職					2			2	2	2				1			9
宝くじ等	1	1		2													4
各種商品		4	6	4		2	3	1	3		1	1	2			5	32
お知らせ	3	4		2	9		6	2	2	2	3	4	5	10	11	3	66
官公庁																	0
その他																	0
空欄		4	8	1		4		2	4					11	14		48
合計	24	28	28	32	28	28	32	28	28	24	20	20	28	32	32	24	436
自社	14	4	12	20	18	7	24	18	19	19	6	6	10	8	7	6	198
他社	10	20	8	11	10	17	8	8	5	5	14	14	18	13	11	18	190

秩父鉄道熊谷駅構内



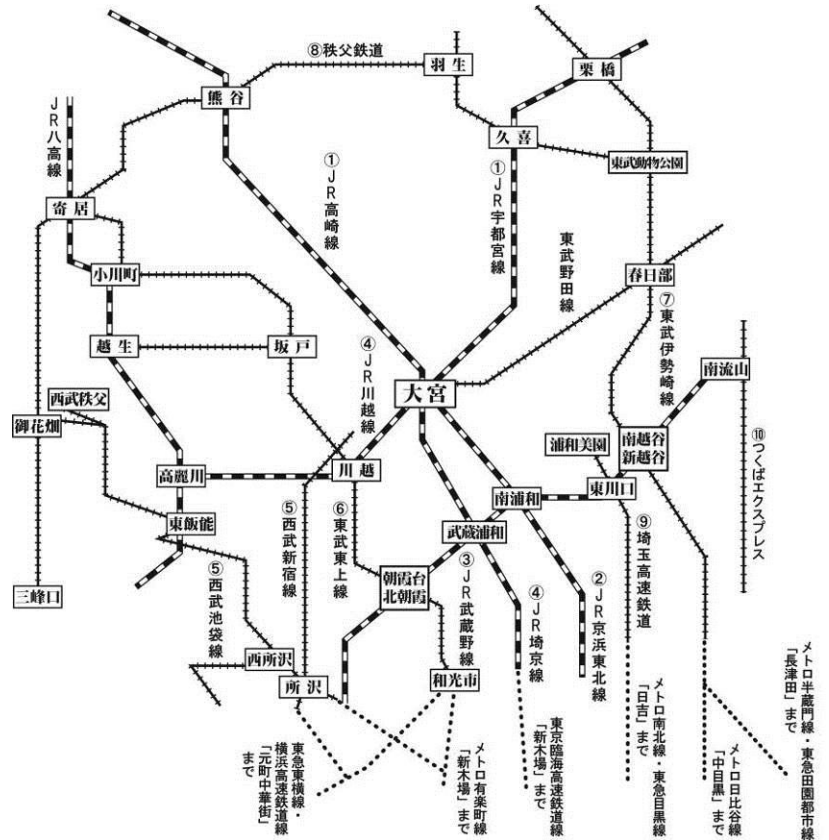
秩父鉄道熊谷駅の画像検索より

源平合戦で活躍した熊谷次郎直実の像（熊谷駅前）



<https://www.townphoto.net> より

埼玉県内調査対象路線と相互乗り入れ線



埼玉県内鉄道沿線別の広告内容状況

鉄道種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計			
広告業種	JR宇都宮・高崎	JR京浜東北線	JR武蔵野線	JR埼京・川越線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	秩父鉄道	埼玉高速鉄道	つくばEX	東京外有楽町線	東京外副都心	東京外口半蔵門線	東京外南北線	東京臨海都市線	東急黒田園都市線				
出版		1	1		1	1	1		8		7						20			
旅行レジャー	10	2	3		16	8	7	4	3								53			
金融保険				JR京浜東北線に同じ						JR山手線に同じ		メトロ副都心線に同じ					0			
不動産	2	2	1				1	1	1		2			2						12
教育学校	3	2	2								1			2						10
文化芸術											2									2
情報通信	2	2	2				2	2			1			3						14
食品		4	4			2			1		4			4						19
商業	1		2			2	3							2						8
カード	2	2	3			2	6	6			2									25
就職							2	2												4
宝くじ等	1	1	3																	5
各種商品		4	4		3	1	3	2	1		2						20			
お知らせ		4	3		6	2	2	5	4		6						32			
官公庁																	0			
その他																	0			
空欄	7	4				2	4	15									32			
合計	28	28	28		32	28	28	28	28		28						256			
自社	10	4	7		24	18	19	8	3		10						103			
他社	11	24	21		8	8	5	5	25		18						125			

鉄道各線の業種別広告内容は、2・3ページをご覧ください。

埼玉県関係

< 全体的な状況 >

- ① 埼玉県内に路線を有する鉄道は、JR、東武、西武、秩父鉄道、埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道、つくばエクスプレスの7会社ですが、このうち中吊り広告を有する路線を対象に調査を実施しました。
- ② 掲載する中吊り広告は、鉄道各線が次のようにグループ化され同一内容になっています。

- ・ JR 京浜東北線、埼京線、川越線、八高線（注：高麗川以南） ・ JR 宇都宮線、高崎線 ・ JR 武蔵野線（JR 中央・総武線に同じ） ・ 西武各線 ・ 東武線（東上線及び越生線を除く各線） ・ 東武東上線及び越生線 ・ 秩父鉄道線 ・ 埼玉高速鉄道線（東京メトロ南北線と基本的に同一内容） ・ つくばエクスプレス（JR 山手線と基本的に同一内容）

< 各線ごとのコメント >

- ・ ①の JR 宇都宮線、高崎線は、旅行レジャーがトップ。教育学校、カードと続く。7 業種と空欄 7。
- ・ ③の武蔵野線は、食品と各種商品がトップ。2 位以下はドングリ状態で 11 業種。空欄 4 で微減。
- ・ ⑧の秩父鉄道は、お知らせがトップ。旅行レジャー、各種商品の順で。5 業種で前月より減少。
- ・ ⑨の埼玉高速鉄道は、出版がトップで食品とお知らせが並んで続く。10 業種と増加。

— ミニ特一集「加算運賃引き下げは朗報か？」 —

身近な食料品をはじめ値上の春が続くなか、鉄道の「加算運賃」について、京王相模原線と京急羽田空港線に設けられていた運賃の引き下げが発表された。内容は京王線が相模原線の普通運賃を一律 10～20 円、通勤・通学定期もこれに準拠して引き下げるもので、すでに昨年 3 月から実施されています。京急線は天空橋～空港間の加算運賃 170 円を 120 円に引き下げ、品川～羽田空国の現行 410 円が 290 円となる大幅なもので、定期運賃もこれに連動し本年 10 月から実施することとしています。



乗りものニュース（2017.10.16）より

この報道への利用者の反応は、概して好意的であります。概して好意的であります。概して好意的であります。加算運賃は利用者が負担しているものであり、今回の鉄道各社側の対応は拍手で評価されるものとは考えられないものではないでしょうか。とくに羽田空港線については、①なぜ今の時期なのか。もっと以前に実施すべきではなかったか。②なぜ 120 円引き下げなのか根拠が明確でない。③残りの 50 円はいつ引き下げる見通しなのか等疑問が残るところです。



<https://4travel.jp/travelogue/11475696> より

運賃の認可官庁である国土交通省サイドのコメントも欲しいところです。

今回の加算運賃引き下げの影響は、同様状況にある京成線などの空港線や京急空港線と競合関係にある東京モノレール線（浜松町～羽田空港 470 円）などの引き下げに及ぶことが予測され、利用者への朗報となることが期待されます。(T.I)

【本レポートは、当法人のホームページ及び図書館のご協力により、さいたま市中央図書館及び川越市中央図書館でご覧いただけます。】

発行人 : NPO 法人地域活性化プラザ 理事長 石原猛男 編集 山崎研一 調査 石原猛男 堀越正夫
〒350-1101 埼玉県川越市大字的場字宿 1310 番地 5 TEL 090-3684-3812 FAX 042-989-9545
URL (ホームページアドレス) <http://www.npo-lap.org> E-mail (メールアドレス) : info@npo-lap.org